

ASEANスマートシティ・ネットワーク（ASCN）について

- 2018年ASEAN議長国シンガポールが提案した、ASEAN加盟各国のそれぞれ3都市程度がスマートシティ開発のために協力するためのプラットフォーム。
- ASCNの目標
 - スマートシティ開発について実証都市間の協力促進
 - 民間と協力しての有望なプロジェクト開発
 - 域外のパートナーからの資金調達等の協力促進
- ASCNでは、各都市がそれぞれのニーズに応じて優先する分野（交通、水質、エネルギー、公共サービス、ICT等）を選択

ASEAN各国および実証都市（10ヶ国26都市）

インドネシア (ジャカルタ、パニューンギ、マカッサル)	カンボジア (プノンベン、バタンバン、シムリアップ)	シンガポール	タイ (バンコク、チョンブリー、プーケット)	フィリピン (マニラ、セブ、ダバオ)
ブルネイ (バンドル・スリ・ブガワン)	ベトナム (ホーチミン、ダナン、ハノイ)	マレーシア (クアラルンプール、クチン、ジョホールバル、コタキナバル)	ミャンマー (ヤンゴン、マンダレー、ネピドー)	ラオス (ビエンチャン、ルアンパバーン)

日・ASEAN スマートシティ・ネットワーク・ハイレベル会合（仮称）の開催について

- 急速な都市化が進展するASEAN各国へ、我が国のスマートシティ及び「質の高いインフラ」の情報を効果的に発信するとともに、ASEAN各都市のスマートシティ化の促進に協力するために、「日・ASEAN スマートシティ・ネットワーク・ハイレベル会合」（仮称）を開催する。

<会議概要（案）>

※「アジア・スマートシティ・ウィーク」として、国土交通省：日・ASEAN スマートシティ・ネットワークハイレベル会合(ASCN)、横浜市：アジア・スマートシティ会議(ASCC)及び内閣府・世界経済フォーラム：グローバル・スマートシティ・アライアンス設立会合(GSCA)の連携開催

日時：2019年10月8日～11日（8～9日：ASCN、8～10日：ASCC、9日：GSCA、11日：ASCN・ASCC合同視察ツアー）

場所：日本・横浜

参加者：ASEAN10カ国・日本インフラ担当官庁次官級・局長級等、26都市代表者、ASEAN事務局
関係団体、国際機関、日本企業、現地企業 等

内容：オープニング/クロージング、全体会合、テーマ別分科会、官民セッション、インフラ視察ツアー 等